

第7回 「なぜなぜ分析」ワンポイント応用編

ここでは、拙著の本に紹介していない応用編について、紹介したいと思います。（ただし、いつか活字になるかも(?)しれません。お約束できませんが……）

あわせて、「なぜなぜ分析」の基本については、ぜひ当社ホームページ、インフォメーションに記載の書籍等をご覧下さい。

2006年 1月 9日

有限会社 マネジメント・ダイナミクス

小倉 仁志

jin-ogura@management-dynamics.co.jp

「なぜなぜ分析」をした後の横展開について

「なぜなぜ分析」を実施している企業が多くなってきた中で、あまりうまくやられていないのが分析およびその分析から得られた対策を実施した後の横展開です。

分析を実施し対策を進めた製造ラインや職場においては、もちろん良い成果が出ているのですが、その職場以外のところでの横展開が思うように実施されないといったことをよく耳にします。

せっかくある職場の方々が時間をかけて問題発生の筋書きを解析または整理したのだから、できれば工場や会社全体の相乗効果を狙いたいものです。

それでは一体、どのようなことについて横展開すべきなのでしょう。実は、横展開すべき事柄は2つあります。

もちろん一つ目は、その「なぜなぜ分析」から得られた再発防止策の横展開です。これは当たり前のことのようにですが、意外と「俺たちの設備は、彼らのもの(分析を実施して対策したチーム)とはちょっと違うから、この対策は使えないな。」などということから横展開が実施されないケースが目立ちます。

そんな場合に、よく私が申し上げるのが、以下のもうひとつの横展開です。

それは、取り上げた課題や事象についての「なぜなぜ分析」の中の、「なぜ」の1から3または4までの問題に至るまでの考え方についての横展開です。確かに、同じ会社でも職場が違えば、分析を実施したチームの状況とは若干違うかもしれませんが、同じような製造工程または業務工程では、意外と本質的なところは類似している(というより酷似しているといったほうが良いかもしれませんが)ことが、少なくありません。

皆さんはあまり気にしていないかもしれませんが、実は同業他社でも同じようなことで悩んでいる可能性は非常に高いのです(ただし、同じぐらいの規模の会社の場合)。

そのことから、会社全体にとって非常に重要なのは、どちらかという2つ目の方なのではないかと私は考えます。

したがって、作成された「なぜなぜ分析」については、どのような経路でそれをチェックし、さらにどのようにそれを会社全体のために活かしていくのかについては、十分検討しておかなければならない事柄なのです。